

2009年6月期 決算補足資料

株式会社ブロードバンドタワー



目次



2009年6月期業績概況・・・・・・・・・・・・・・・・P. 3

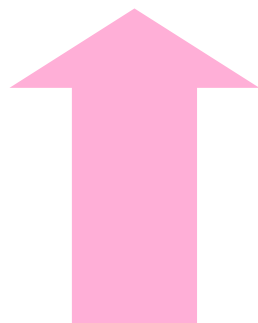
サービス別売上・・・・・・・・・・・・・・・・P. 9

2009年6月期トピックス・・・・・・・・・・・・P. 13

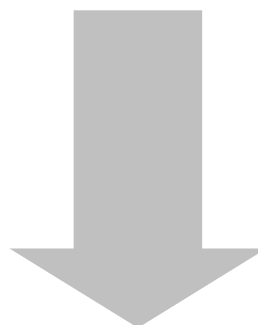
2010年6月期展開・・・・・・・・・・・・P. 21

2009年6月期業績概況

2009年6月期 要約



- ・フレックスホスティング販売加速（新サービスの拡充）
- ・次世代クラスタストレージ「ISILONシリーズ」販売堅調（製造業分野へ新たに展開）
- ・連結子会社BBF事業規模拡大（ECシステム構築・支援の伸長、TVショッピング支援事業開始）
- ・徹底した設備運用の効率化、固定費削減による原価低減および間接コスト削減



- ・スペースサービス及びネットワーク接続サービスにおける既存顧客からの収入減少
- ・データセンターに供給される電気代単価の上昇による費用負担増
- ・関西サイトの減損処理（1,223百万円の減損損失）

売上高：10,290百万円（前年度比 **5.2%増↑**）

営業利益：253百万円（前年度比**29.2%減↓**） 当期純利益：▲829百万円

2009年6月期 業績概況（連結）



（単位：百万円）

	2008年6月期	2009年6月期	増減額	増減率
売上高	9,783	10,290	507	5.2%
売上原価	8,409	8,908	499	5.9%
売上総利益 (対売上総利益率)	1,374 14.0%	1,381 13.4%	7 △0.6%	0.6%
営業利益 (対売上営業利益率)	358 3.7%	253 2.5%	△104 △1.2%	△29.2%
経常利益 (対売上経常利益率)	351 3.6%	245 2.4%	△106 △1.2%	△30.2%
当期純利益 (対売上純利益率)	191 2.0%	△829 -	△1,020 -	-

- BBTowerは、売上・利益ともに悪化
- BBFは既存事業に加え、新規事業（TVショッピング支援）を立ち上げるなど大幅な事業規模の拡大と成長基調の維持を達成

コンピュータプラットフォーム事業⇒売上高：8,877百万円（前年度比1.3%減） 営業利益：181百万円（前年度比46.0%減）
 Eコマースプラットフォーム事業 ⇒売上高：1,412百万円（前年度比79.7%増） 営業利益：71百万円（前年度比301.5%増）

2009年6月期 業績概況（個別）



（単位：百万円）

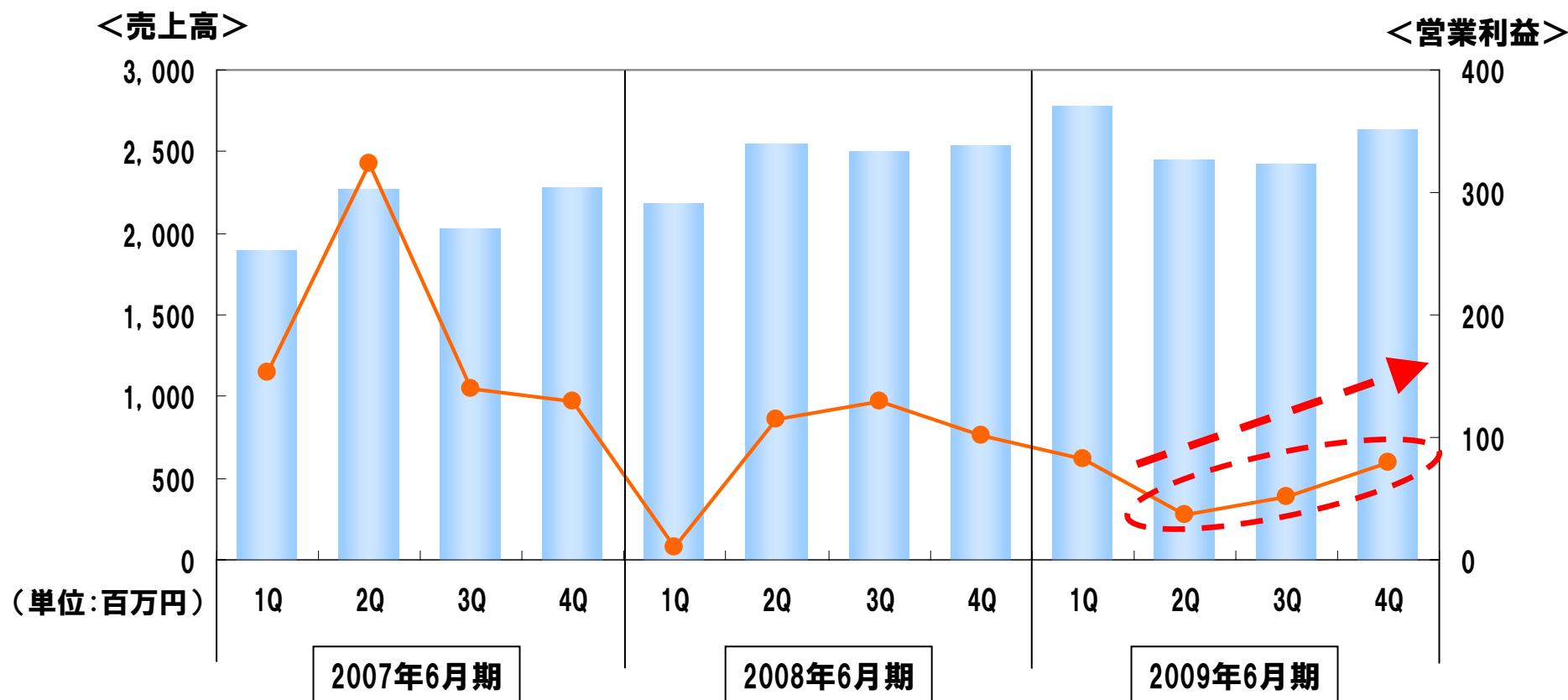
	2008年6月期	2009年6月期	増減額	増減率
売上高	9,030	8,888	△141	△1.6%
売上原価	7,806	7,783	△22	△0.3%
売上総利益 (対売上総利益率)	1,223 13.5%	1,104 12.4%	△118 △1.1%	△9.7%
営業利益 (対売上営業利益率)	337 3.7%	181 2.0%	△155 △1.7%	△46.2%
経常利益 (対売上経常利益率)	333 3.6%	172 1.9%	△160 △1.7%	△48.2%
当期純利益 (対売上純利益率)	118 1.3%	△875 -	△993 -	-

売上面：スペースサービスにおける既存顧客からの収入減少
ネットワーク接続サービス契約帯域減少によるスペース関連サービスの月額売上減少
利益面：電気代上昇等による費用負担増
関西サイト減損により減益

**ホスティングおよびプロダクト販売は好調に推移するものの、
コロケーションサービスの成長鈍化に加え、電気代の増加などにより利益率が悪化**

業績四半期推移

2009年6月期は第2四半期以降、着実に回復傾向



2009年6月期 BS・CF



(単位:百万円)

	08年6月期 通期 (08. 6. 30)	09年6月期 通期 (09. 6. 30)		08年6月期 通期 (08. 6. 30)	09年6月期 通期 (09. 6. 30)
流動資産合計	4,748	5,226	流動負債合計	1,180	1,761
現金及び預金	2,930	3,453	買掛金	504	606
売掛金	1,186	1,238	短期借入金	—	② 500
商品及び製品	388	212	一年内返済予定の 長期借入金	405	405
繰延税金資産	49	97	その他	271	250
その他	205	226	固定負債合計	1,634	1,245
貸倒引当金	△ 12	△ 2	長期借入金	1,620	1,215
固定資産合計	4,278	3,172	リース債務	—	26
有形固定資産	3,663	① 2,145	長期設備関係未払金	14	4
無形固定資産	91	62	株主資本合計	6,079	5,252
投資その他の資産	523	964	評価・換算差額等 合計	—	△ 9
			新株予約権	20	3
			少数株主持分	112	144
			純資産合計	6,212	③ 5,391
資産合計	9,026	8,398	負債純資産合計	9,026	8,398

(単位:百万円)

	08年6月期	09年6月期
営業活動CF	△ 139	846
投資活動CF	△ 894	△ 400
財務活動CF	1,184	76
現金及び現金同等 物の期末残高	2,930	3,453

【 キャッシュ・フロー内訳 】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前当期純損失 △976百万円
 - 減価償却費 444百万円
 - 減損損失 1,223百万円
 - たな卸資産の増加 165百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 有形固定資産の取得 △133百万円
 - 投資有価証券の取得 △255百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 長期借入金の返済 △405百万円
 - 短期借入金の借入 500百万円

- ①減損損失を計上したことによる有形固定資産の減少
- ②新規借入による増加
- ③当期純損失の計上による減少

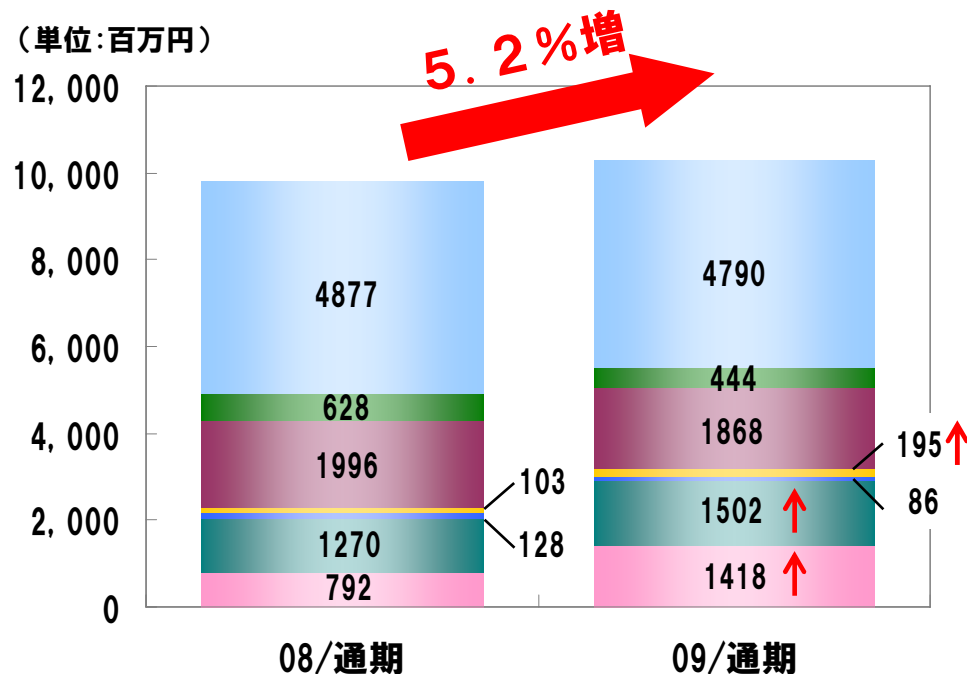
er, Inc. All Rights Reserved.

サービス別売上

サービス別売上（前年度比）

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記

（単位：百万円）



- コロケーション
- ネットワーク
- 運用受託
- アプリケーションプラットフォーム
- その他（MSP等）
- プロダクト
- ECサイト構築・運用他

《コロケーション・運用受託》

当社サイトでの新規顧客獲得を進めるものの、IT設備への投資減少等の影響により、スペースサービスにおいて既存顧客からの収入減少

《ネットワーク》

接続サービス契約帯域減少に伴う収入減少

《アプリケーションプラットフォーム》

フレックスホスティングの新サービス追加およびアプリケーションサービス開始（前年度比90%増）

《プロダクト》

ISILONシリーズ機器は堅調に推移（前年度比18%増）
（対象：ゲーム業界、映像配信事業者、製造事業者）

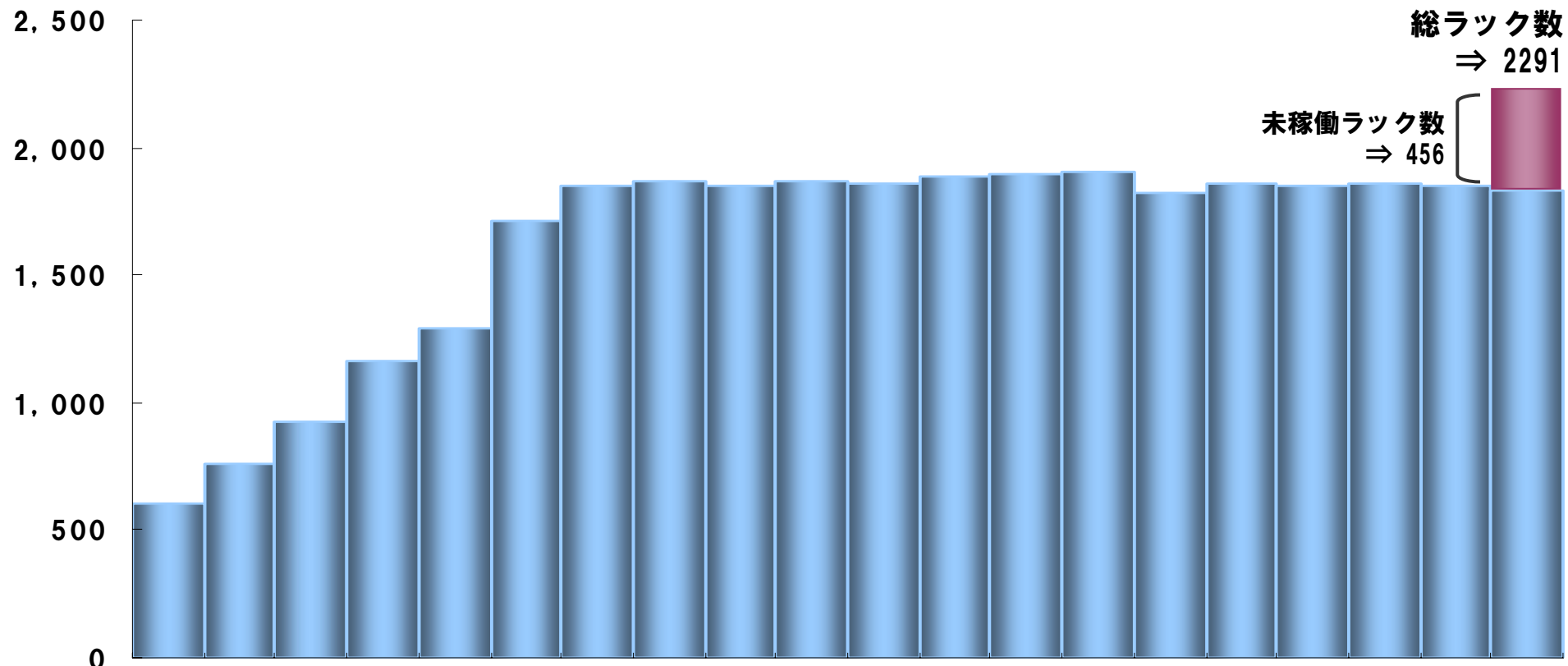
《ECシステム構築・運用他》

アパレル企業向けECシステム構築支援・運用サービスにおいて、新規顧客獲得・既存顧客へのEC販売額増大ならびにサービスラインアップの充実。加えて、TVショッピング支援事業を新たに開始（前年度比79%増）

稼働ラック数推移



(単位:ラック)



	03/6月	12月	04/6月	12月	05/6月	12月	06/3月	6月	9月	12月	07/3月	6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	09/6月
稼働ラック数※	601	759	925	1,166	1,287	1,717	1,846	1,872	1,850	1,867	1,857	1,887	1,893	1,903	1,823	1,855	1,852	1,862	1,849	1,835
稼働率	43%	54%	66%	80%	72%	80%	86%	87%	86%	87%	82%	74%	83%	83%	80%	81%	81%	81%	81%	80%

※稼働ラック数：当社第1・第2・第3・関西の4箇所のデータセンターにおいて、顧客が利用しているラックの数（運用受託除く）

関西サイト開設

電源供給可能な設置可能ラック数をベースに稼働率を再計算（従来はスペースを基準に算出）

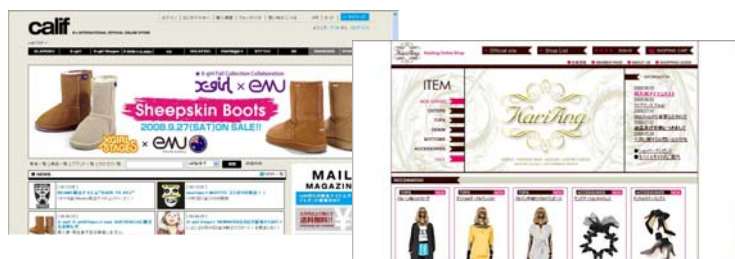
Eコマースプラットフォーム事業

◆ECシステム構築・運用

アパレル企業向けECシステム構築支援・運用サービスにおいて、新規顧客獲得・既存顧客へのEC販売額増大

※09/6月末時点：
(37サイト構築、取扱ブランド数：253ブランド)

<構築例>



◆サービスラインアップ追加

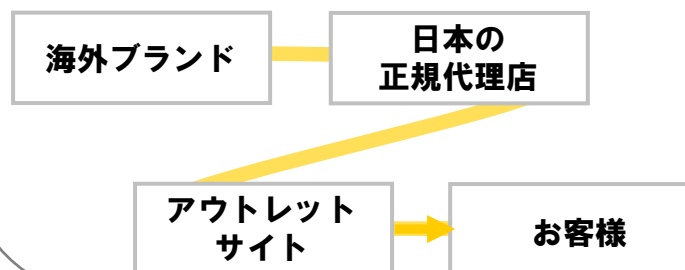
<アウトレットサイト>



海外ブランドの正規商品をアウトレット販売するサイト運営を三井物産と協力し展開

(※ビービーエフは販売業者)

【販売までの流れ】



**三井物産との資本業務提携は
大きな効果をもたらす**



売上高※：1,412百万円 (80%増)

営業利益：71百万円 (302%増)

※売上高は内部調整振替後

2009年6月期 トピックス

第2四半期：
固定資産の減損に係る会計基準に基づき、関西サイトにおいて減損損失
1,223百万円の計上

◆減損理由

- ①昨今の金融不安により関西地区の経済状況が一段と悪化
⇒ 市場価格が一層下落

- ②当社販売価格と市場価格で乖離があり、今後市場価格が回復する見込みは薄い

減損後の戦略

戦略的販売価格設定

+

関西地区の地場企業との
販売協業を交渉中

新事業(BBF)：TVショッピング支援事業



テレビ通販を展開している複数の事業者へ対し
TVショッピング支援事業を09年6月より新たに開始！！

<形態別通販市場>

形態	2008年見込	2010年予測	伸長率
カタログ	1兆5,450億円	1兆5,209億円	98.40%
テレビ	3,818億円	3,950億円	103.40%
インターネット	2兆1,753億円	2兆5,097億円	115.40%
モバイル	3,165億円	4,080億円	128.90%
その他	1,053億円	1,109億円	105.40%
合計	4兆5,238億円	4兆9,444億円	109.30%

通信販売の市場規模は、2010年には約5兆円に迫る予測であり、うちテレビ通販は3950億円の見込み。視聴可能世帯数増加が要因。

TVショッピングにおけるバックエンド支援事業とファッションECにおけるバックエンド支援事業を行っているBBFとのシナジーは十分にあると判断。

ファッション関連市場における存在感と
ブランド力向上 ⇒ 事業規模の拡大

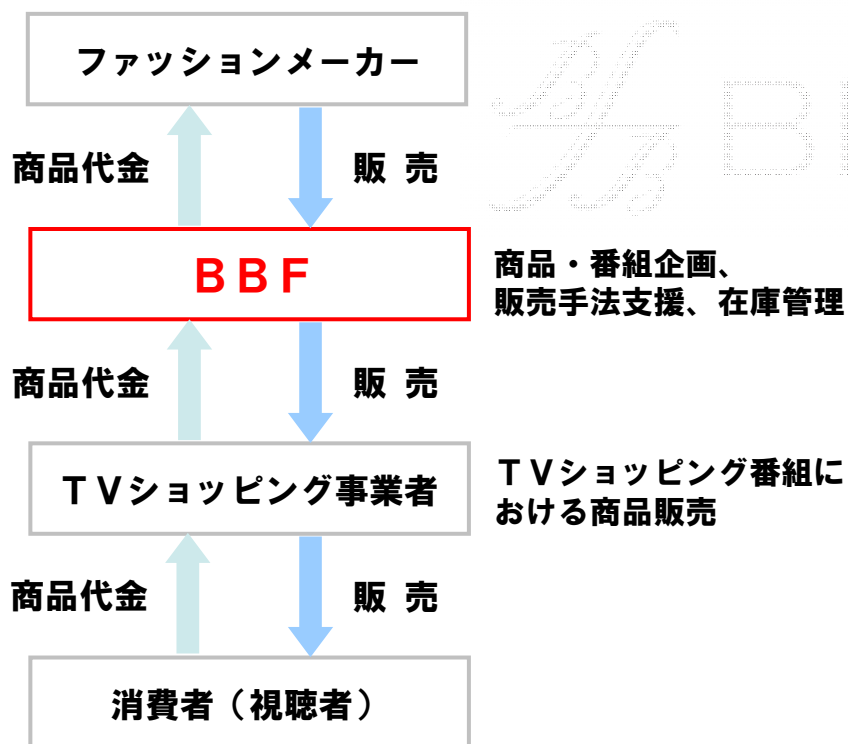
TVショッピング支援事業
売上見込み：15億円

TVショッピング支援事業（事業概要）

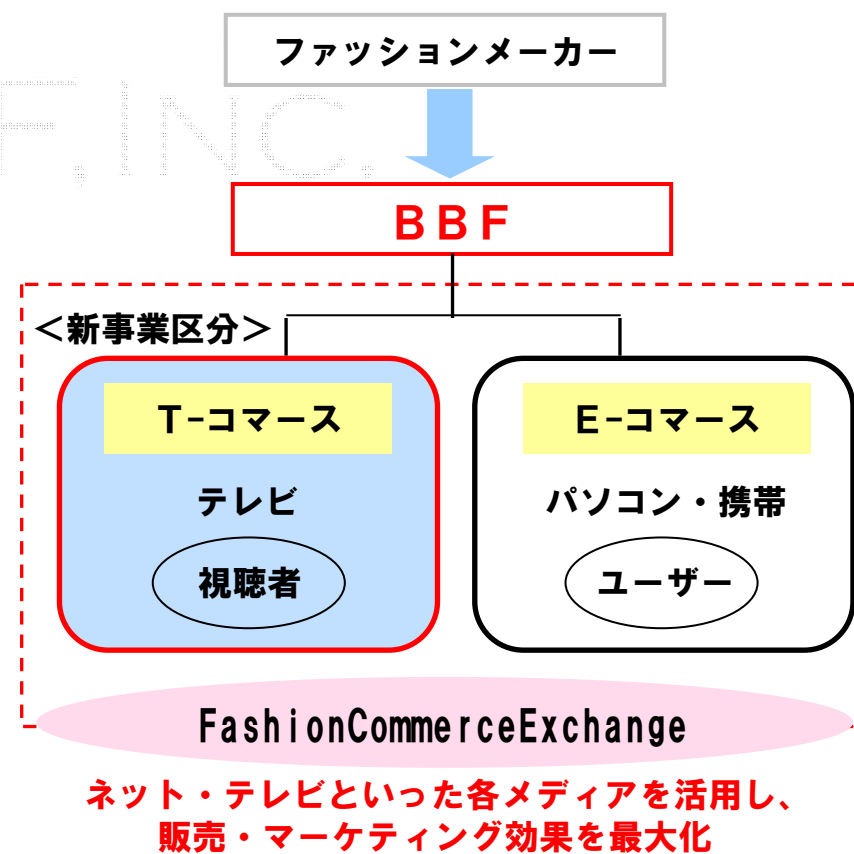
◆テレビショッピング支援事業概要

ファッション関連テレビショッピング番組企画およびテレビショッピング事業者の販売商品企画、仕入れ、在庫管理などの販売支援

< 概要図 >



< BBF事業全体図 >



◆増資引受の背景

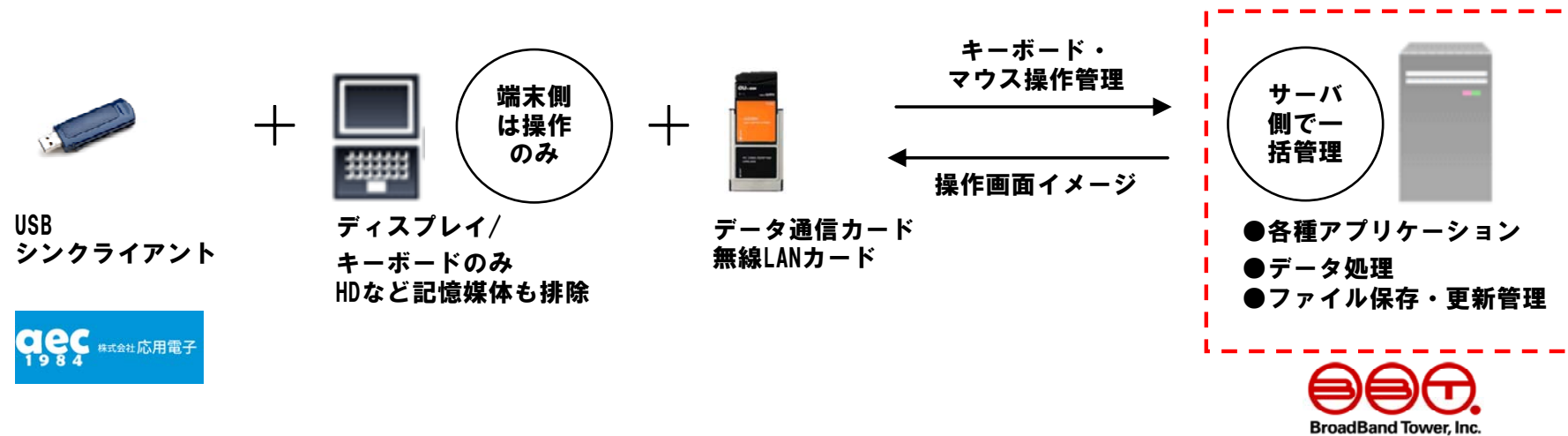
<企業が抱える様々な課題>

- ・ 情報漏洩の危険性
- ・ 管理工数、運用コストの負荷大
- ・ 自分のPCがない環境では業務不可
- ・ 新型インフルエンザによる在宅勤務の必要性

シンククライアントシステムが課題を解決

シンククライアントは、これまでPC単位で分散管理していたデータやアプリケーションをサーバーに集約し、クライアント側ではデータを持たないため情報漏洩リスクを低減でき、端末環境を一元管理することで、運用コストの削減も可能とする。その他にも、TCO削減や内部統制の強化といった課題の解決も可能。

シンククライアントサービスの事業概要



シンククライアントを利用するには、クライアントPCが行ってきたアプリケーションやファイルデータなどの処理や保管は、すべて**サーバー側で一括集中管理する必要があり、その役割をBBTowerが担う。**

◆応用電子会社概要

資本金 : 228百万円

従業員数 : 10名

事業内容 : オペレーティングシステムを主とする
ソフトウェア開発
電子機器の製造及び販売

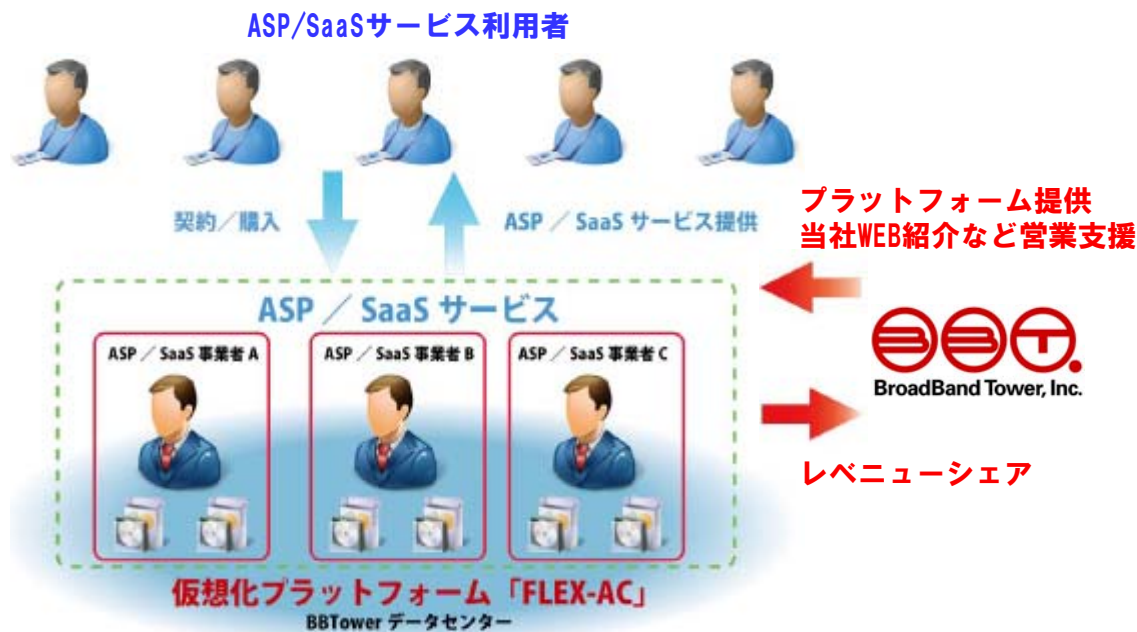
◆第三者割当増資（普通株式）概要

- | | | |
|-------------|---|--------------|
| ① 引受株式数 | : | 1,250株 |
| ② 1株当たり引受価額 | : | 80,000円 |
| ③ 引受価額の総額 | : | 100,000,000円 |
| ④ 持株比率 | : | 4.81% |

クラウド・コンピューティングへのチャレンジ

ASP/SaaS事業への参入をめざす企業向けに、当社のデータセンター基盤上の仮想ホスティングによるアプリケーションプラットフォームサービス『FLEX-AC (Application Club)』の提供を開始。

<FLEX-AC サービス概念図>



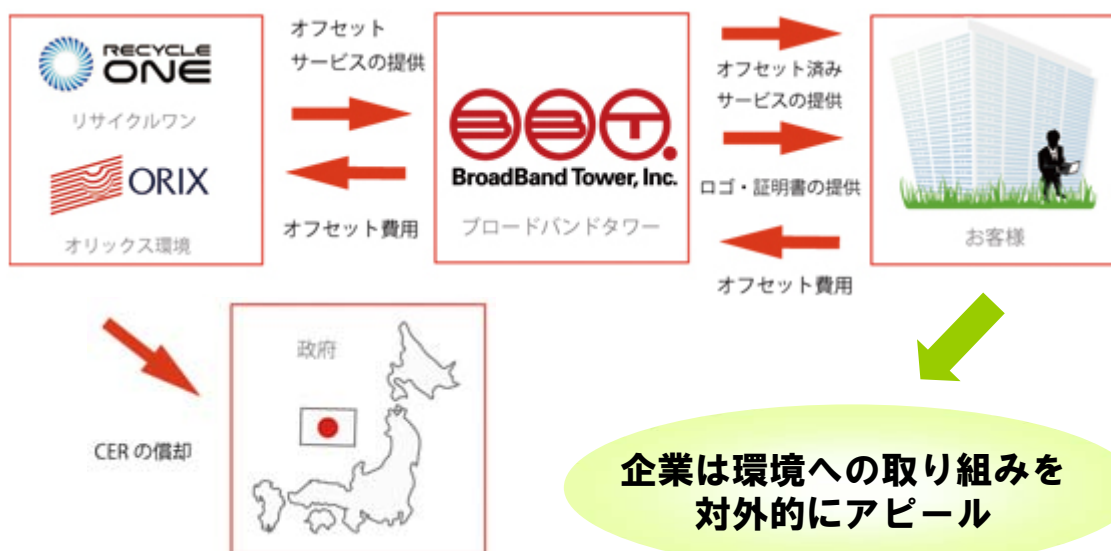
ASP/SaaS 事業を立ち上げる企業向けに、プラットフォームサービスを一定期間無償で提供し、かつ売上に応じた課金モデルによって、低コスト・短期間での市場への参入を支援。

新規事業への新たな投資に対し、十分な事業基盤を持たない企業は、初期コストを大幅に抑えることが可能とともに、無償期間経過後も、売上に応じたコスト負担となるため、事業リスクを軽減。

グリーン化への取り組み

iDC業界初の取り組みとして、カーボンオフセットプロバイダー大手であるリサイクルワンおよびオリックス環境と提携し、全ての主要サービスのオプションメニューとして、カーボンオフセットサービスの提供を開始。

<BBTowerカーボンオフセットサービスの仕組み>



低コストで手軽に導入でき、しかも効果が高い温暖化対策（カーボンオフセット）をブロードバンドタワーが主要全サービスにおいて提供。お客様は本サービスを利用することで、京都議定書が定めた日本の排出削減目標達成に貢献するとともに、効果的に対外アピール出来るツール（ロゴ・証明書）も用意。

企業は環境への取り組みを対外的にアピール



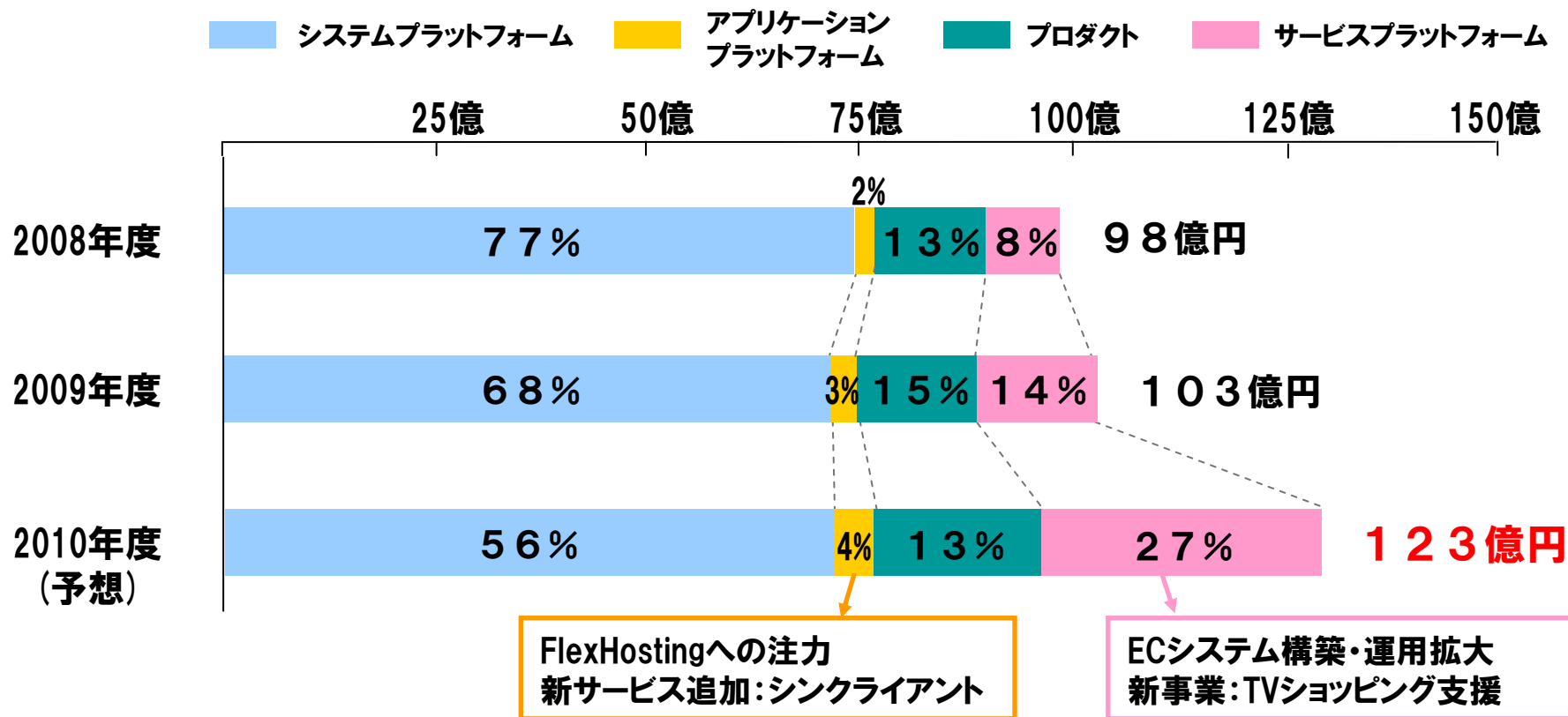
※イメージ

2010年6月期展開

2010年6月期 事業展開



◆サービス別ポートフォリオ



事業ポートフォリオは着実に変化
高付加価値サービスへ資源集中

2010年6月期 業績予想



【 連結業績 】

(単位:百万円)

	2009年 6月期	2010年 6月期	増減率
売上高	10,290	12,300	19.5%
営業利益	253	530	109.0%
営業利益率	2.5%	4.3%	1.8%
経常利益	245	490	99.8%
当期純利益	△ 829	190	—

【 個別業績 】

(単位:百万円)

	2009年 6月期	2010年 6月期	増減率
売上高	8,888	9,210	3.6%
営業利益	181	380	109.4%
営業利益率	2.0%	4.1%	2.1%
経常利益	172	350	102.8%
当期純利益	△ 875	150	—

売上高 : ①関西サイトの販売本格化 ②フレックスホスティング販売加速 ③プロダクト販売強化 ④シンククライアントサービス事業開始 ⑤BBF事業拡大により増加

営業利益 : 売上増加およびデータセンター内の設備更新等に伴う原価増加はあるが、関西サイトにおける賃料減額および減損に伴う減価償却費減、データセンター運用の効率化など、様々な項目に対してのコスト削減施策が実を結び、営業利益率は改善する見込み。

連結・個別ともに増収増益へ

当社 I R に関するお問い合わせ
 管理グループ 財務 IR担当
 TEL : 03-5573-8172



<http://www.bbtower.co.jp/>

本資料は、2009年6月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2009年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証しまたは約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。